

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度 第3回沖永良部警察署協議会
会 議 日 時	令和8年2月19日（木）午後3時30分から午後5時
会 議 場 所	沖永良部警察署会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下6人 2 警察署 署長以下9人
<p>（会議の概要）</p> <p>1 会次第</p> <p>(1) 開会のことば</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>(3) 協議等</p> <p>ア 管内における事件・事故等の取扱状況</p> <p>イ 第2回警察署協議会での意見・答申を受けた当署の取組状況</p> <p>ウ 委員からの意見・要望</p> <p>エ 警察署長の諮問及び委員の答申</p> <p>オ 速度取締りの指針について</p> <p>(4) 閉会のことば</p> <p>2 第2回警察署協議会以降の当署の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沖永良部地区防犯協会や鹿児島銀行沖永良部支店等の関係機関と合同で、防犯キャンペーンを実施 ● 沖永良部交通安全協会や役場、交通安全母の会等の関係機関・団体と合同で、飲酒運転根絶を呼び掛けるキャンペーンを実施 ● 沖永良部交通安全協会や役場等の関係機関・団体の協力を得て、夜間にアルコールを提供する飲食店を訪問し、運転代行の利用やハンドルキーパーの設定などの呼び掛け ● 中学生に対する飲酒運転の危険性について説明を実施 <p>3 委員からの意見・要望・質問等</p> <p>(1) 委員から「生徒の交通安全対策として「グリーンベルト」が設置されているが、時期によっては、雑草が覆い被さっているため、定期的に通学路の点検を実施してほしい。」旨の要望がなされ、警察署から「グリーンベルトや道路の雑草等の除去について、県道は鹿児島県、町道は各役場の管理となるが、具体的な場所が判明していれば、警察から道路管理者への申し入れも可能である。通学路の点検については、年1回、役場・学校関係者及び教育委員会等と合同で実施しており、引き続き通学路の危険箇所の改善に努めてまいりたい。」旨の説明があった。</p> <p>(2) 委員から「警察署や交番・駐在所に、気軽に相談しやすい環境作りに取り組んでほしい。」旨の要望がなされ、警察署から「警察署をより身近に感じてもらうために、敬老会や定例会、区長会のほか地域スポーツ大会への参加等、地域に密着した活動を行っている。今後も引き続き、地域に密着した活動を積極的に行い、島民が警察署を身近に感じていただけるよう努めてまいりたい。」旨の説明があった。</p> <p>4 諮問・答申</p> <p>警察署長から「昨年1年間に県内で認知したうそ電話詐欺等の被害状況は、認知件数・被害総額とも過去最高となった令和6年を大幅に上回っており、極めて危機</p>	

的状況にある。当署管内でも昨年2件のうそ電話詐欺、2件のSNS型投資・ロマンス詐欺を認知していることから、特殊詐欺被害防止に資する御意見をいただきたい。」旨の諮問がなされ、委員からは「警察職員が集落単位での防犯講話や公民館・自治会行事において、実際に発生した詐欺の手口や概要を説明してはどうか。」、「学校や職場、地域団体での世代別講話、実際の詐欺メッセージ画面を使った具体的な注意喚起など、視覚に訴えるような啓発も必要だと思う。」、「島内イベント（産業まつり等）で、啓発ブースを設置したり、地元テレビ局や防災無線を活用するのも有効だと思う。」、「相談できる窓口「#9110」や消費者ホットライン「188」の周知の徹底を図ってほしい。」、「詐欺の手口は多種多様で複雑巧妙であるため、各機関とも連携を強化して被害防止に努めていただきたい。」、「防犯標語「いかのおすし」のように、頭文字を使った標語など、覚えやすい広報をすると、幅広い世代に浸透するのではないか。」等の答申がなされた。

備 考	
-----	--